

2023年1月30日

萩ジオパーク推進協議会  
会長 田中 文夫 様

日本ジオパーク委員会  
委員長 中田 節也



### 第47回日本ジオパーク委員会審査結果通知書

2022年12月16日に行われた第47回日本ジオパーク委員会において、貴地域は再認定となりました。その審議の過程における貴地域に対する委員会からの意見をまとめて、ここに通知します。

#### 【総評】

萩ジオパークは、地質を含む各種自然遺産と歴史・文化遺産や伝統的な地域産業を活用して学校教育を行うとともに、各種講座を開催しモデル的なツアーを行っている。地形・地質や生態系と人の暮らしのつながりに気づき学べる活動を通じて、地域の中にジオパークの理念をよく理解する人が少しずつ増え、多くのパートナーがジオパーク活動に参加するようになった。ジオパークが養成したガイドは、学校での実習や野外見学を担当し、ツアーを企画し実行できるようになった。また、萩ジオパークの講座の一部はJGN全体を対象として行われ、JGNのYouTubeプログラムの作成を担うなどネットワークへの貢献が大きい。4年間の活動の中で、前回の新規認定時の指摘事項についてはそれぞれ改善が見られている。

今後は多様な活動を行うための事務局内の人材の育成、あるいはそうした能力を持つ外部人材との連携の強化を行ない、自然と人のつながりを実感し両者の良い関係を築ききっかけとなるツアーや体験プログラムをさらに充実してほしい。それが萩を含むジオパーク内の観光や教育旅行の高付加価値化とリピーターの増加につながり、地球と人のつながりに気づく旅行が広く普及するよう、関係する人・組織・団体との連携を深めて行くことを期待する。

#### 【優れている点】

- ・事務局が主催するオンライン・現地でのツアーは対象・内容ともにバラエティに富んでいて内容が濃い。
- ・これまでのツアーや講座に刺激されて、ジオパークの理念をもとに、地域の自然と人のつながりについてきちんと伝えていくことができる人が地域内に増えている。
- ・事務局がほとんどの活動を主導する段階から、ガイド団体やパートナーがガイド活動や野外アクティビティなどを企画・実行し、地域におけるジオパーク活動を拡大させる段階にきている。

#### 【今後の課題・改善すべき点】

- I 緊急に着手ないし解決すべき課題（おおむね1年以内）
1. 萩・明倫学舎の入り口付近に、2階にあるジオパークの展示への導線を作るとともに展示の内容紹介などを設置してほしい。

## II できるだけ早く解決すべき課題（2年以内）

2. ジオパークの理念がさらに多くの人に共有され、新たな、あるいは既存のビジネスや産業をも通じてその理念が広まるよう、ジオパークに関わる人や地域の人たちの経済活動をジオパークが支援していく具体的な方策についてさらに検討を進めてほしい。
3. 2市1町のジオパークの拠点となる施設やそのウェブサイト上での、一般の訪問者や地域住民向けのジオパークの可視性向上に関して、その手法や方策も含め関係者間で検討し、年次計画を整理し進める必要がある。

## III 中長期的に解決すべき事項

4. 海域の境界をどうするか、海域を持つ他のジオパークや日本ジオパーク委員会と議論して、合理的で意味のある新たな境界設定を検討してほしい。
5. 事務局の人員数を維持し、多様な活動を継続してほしい。また、阿武町・山口市阿東地域の活動をさらに強化してほしい。
6. 多様な活動を行うための事務局内での人材の育成・確保、あるいはそうした能力を持つ外部人材との連携の強化を行なう必要がある。

### 【今後の活動の推進に向けて参考にしてほしい点】

- ・ コロナ禍の制限解除後に海外からの旅行者の増加が見込まれることから、パンフレットなどの英語化の検討、英語で実施する各種プログラムの検討を始めるのが好ましい。
- ・ 事務局主催・共催のツアーは質が高いので、講座の頻度、料金、広報、運営体制などを検討し、収益を上げて事務局独自の財源確保をめざすことができる。また、パートナーがジオパークの理念に即した経済活動を行うことで利益が得られるように、推進協議会の支援を継続するとともにより強化することもできる。
- ・ 萩の自然・文化観光に関係する観光関係の組織・団体、県・市の文化財セクションなどと、ジオパークとの連携に向けた方策の検討が可能である。既存のガイド団体にジオパークのツアー内容とガイド手法の良い点を取り入れられれば、萩での教育旅行ツアーや教育・体験プログラムの魅力が高まり、より高い付加価値の教育旅行の提供や地域経済の活性化につながるとともに、全国からの修学旅行生にジオパークの理念が広まることが期待できる。
- ・ ジオパークの理念に即した様々な活動が経済的に成り立つことを見せることで、その理念が一部の人のためにだけあるのではないということを、国内外のジオパークに住む人々に萩ジオパークから伝えられることに期待したい。

以上で指摘した点や現地調査で指摘された点を含め、今後どのように改善するか、人や予算の裏付けとスケジュールを明記したアクションプランの形で、半年以内に日本ジオパーク委員会に報告してください。それらの進捗については、4年後の再審査の際の審査対象とします。

以上